平成29年度 事業報告

桧觚汰上牧町社会福祉協議会

平成 29 年度 上牧町社会福祉協議会 事業報告概要

今年度は平成27年度に策定した第2次上牧町地域福祉活動計画(平成28~32年度)の2年目として、計画の基本理念「人と人とが手を取り合って支えあう福祉のまちづくり」の実現を目指して住民、ボランティア、NPO、福祉関係諸団体、行政等とのネットワークを活用した地域福祉活動を推進しました。

平成29年度の新たな取り組みとして、生活支援コーディネーター業務(町受託事業)を実施するとともに第2次計画の2年目として計画の基本目標に基づき各種事業を展開しました。

事業報告

基本目標 I 地域で顔の見える関係づくり

■ 1. 地域での顔の見える関係づくり

- (1) 自治会区を基盤とした小地域ネットワークの拡充
 - ①小地域ネットワークの組織化
 - ・小地域ネットワークの組織化支援

平成29年度当初12地区だった小地域ネットワークが1地区で新たに組織化され、組織化率が54.2%となった。新たに組織化されたのは、葛城台の小地域ネットワーク「葛城台コミュニティーねっと」。

組織化率 12/24(50.0%)→13/24(54.2%)

- ②小地域ネットワークの充実
 - ・小地域ネットワーク連絡会の開催 月1回ネットワーク連絡会の開催ネットワーク連絡会研修の開催。 全12回の連絡会のうち1回を研修会として夏休み宿題サロンの反省と情報交換を実施。(9月21日 17名参加)
 - ・各地域の中で見えてきた課題の共有 各小地域ネットワークの活動や企画会議に職員派遣。 新たな取り組みとして、夏休み宿題サロンの開催を提案し、各小地域ネットワークと共同で実施する。

(計10カ所、参加者:子ども83名、支援者等97名)

- ・研修会(8月26日 なら小地域福祉活動サミットへの参加)
- (2) 支え合い活動の充実
 - ①地域にあった活動づくり
 - ・サロン等の居場所づくり
 - 小地域ネットワークによるサロン活動。町内 13 地区で活動する小地域ネットワークで高齢者に限らず多世代が参加できるサロンを開催。
 - つどいの広場事業に受託実施等による子育て世代が集える居場所づくり。 (サロンぽけっと 135回 2,492名参加

地域サロン 12回 171名参加 アピタサロン(乳児対象) 47回 803名参加

親子教室 30回 920名参加)

脳の健康教室(片岡台3丁目)の受託実施(24回 延べ207名参加)。

障害を持つ人の仲間づくり

カラオケ大会(4月23日)

淡路市社協就労支援事業(幸来)との交流(6月13日)

ぷらっと利用者と学習支援事業利用者の交流(7月8日)

ボウリング大会(9月23日)

調理実習(12月27日)

身体障害者福祉協会との交流(2月25日)

- ②災害にも強いまちづくり
 - ・災害時対応訓練の実施

災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催。

(11月26日 上牧町総合防災訓練へ参加

訓練終了後、社協職員を対象とした研修を別途実施 20名参加)

基本目標Ⅱ だれもが地域に参加できる仕組みづくり

■ 2. だれもが地域に参加できる仕組みづくり

- (1) 多様な参加の機会づくり
 - ①多様な人々のつどえる場づくり
 - ・当事者の社会参加を通じた理解の促進 ぷらっとを通じた障害理解の促進を目的にスーパー、役場、片岡台3丁目 での出張販売の実施。

(出張販売:毎週金曜日アピタ、隔週火曜日役場、片岡台3丁目)

ぷらっとメンバーによる配食サービス弁当の配達。

(月水金の夕食 延べ利用登録者15名 1,138食)

・子どもの居場所づくり

奈良県子どものこころと学びの支援事業を受託し、毎週土曜日に 2000 年 会館において子どもの居場所づくり事業「きらっと」を開催。生活困窮や家 庭環境など様々な暮らしにくさを抱える子どもに対して簡単な学習と遊び、 軽食を提供。

(40回 延べ122名利用:幼稚園2名、小学生3名、中学生2名 ボランティア延べ125名)

- (2) 学びの機会づくり
 - ①学童期を対象とした福祉教育
 - ・福祉教育プログラムの提供 (未実施)
 - ②活動のきっかけへと結びつく学習会

・新たな担い手の発掘を目的とした連続講座「かんまきタウンカレッジ」を 開催。

(開催回数12回 参加者数215名 企画委員4名 企画会議2回)

ボランティア講座の開催

手話入門講座の受託実施。

(24回 延べ239名参加 修了者11名)

・社協まつりの開催ふれあい社協まつりの開催(5月28日 約800名参加)

(3)地域活動者への支援

- ①ボランティア活動支援の強化
 - ・町ボランティア連絡協議会及び加盟団体への活動助成の実施。 (共同募金配分金による助成 団体 177,000円)
 - ・スキルアップ講座の開催 現活動者を対象としたボランティア講座の開催。 (未実施)
 - ・ちょボラ等の情報発信の充実 編集委員会によるボランティア情報誌の編集と発行(年3回)
- ②活動者のつながり支援
 - ・上牧町ボランティア連絡協議会への活動支援。 (ボランティア代表者会議の開催 年8回 研修会の開催 12月5日 15名参加 県ボランティア研究集会 2月10日への参加)

基本目標Ⅲ 暮らしの課題を受け止める相談体制の強化

■ 3. 暮らしの課題を受け止める相談体制の強化

- (1) ニーズ把握の充実
 - ①地域を基盤としたニーズ発見の仕組みづくり
 - ・小地域ネットワーク等と連携したニーズキャッチ各小地域ネットワークへの職員派遣と世話人会でのニーズ把握の実施
 - ②課題を漏らさず受け止める体制づくり
 - ・総合相談機能の強化 コミュニティソーシャルワーカー研修、生活支援コーディネーター研修へ の参加。
 - ・サービス調整会議の開催による社協内連携(月1回開催)
- (2)関係機関の連携強化
 - ①関係機関との協議の場づくり

・関係機関との連携

子どもの居場所づくり事業の実施に係る行政担当課及び学校、民生児童委員等との連携及び調整会議に開催。

(校園長会1回、行政1回、学校4回)

■4. その他の事業

(1)会務の運営

- ①理事・評議員会の開催
 - ・理事・評議員会の開催 理事会3回(平成29年5月16日、6月2日、平成30年3月1日) 評議員会2回(平成29年6月2日、平成30年3月27日) 評議員選任解任委員会1回(平成29年6月6日)
- ②監査の実施
 - ・会計、事業監査の開催 年4回

(2)介護事業等の実施

- ①介護保険事業等の実施
 - ・訪問介護事業の実施

(身体介護1,572回 1,053時間43分 身体生活 109回 109時間 生活援助1,445回 1,116時間50分 介護予防 392回 308時間11分 有償福祉サービス 562回 576時間10分)

- ・居宅介護支援事業の実施 (ケアプラン作成726件 予防プラン作成291件 認定調査104件)
- ②障害福祉サービスの実施
 - ・居宅介護等の実施障害児者への訪問介護事業の実施。

(居宅介護12件 重度訪問介護2件 同行援護2件 行動援護1件 1,714回 2,770時間30分)

- ・移動支援事業の受託実施 障害児者への余暇活動等社会参加のための移動支援。(273回 413時間)
- ・地域相談支援事業の実施 障害福祉サービスの計画作成とモニタリング。(18名 延べ26件)
- ・就労継続支援事業B型の実施カフェぷらっと等の運営。

利用登録者	10名(知的障害者7名、精神障害者3名)
│ │ 通所者数	延べ1,158名(一日平均4.6名)
営業日数	252日 (来店者数3,723名 一日あたり売上約10,695円)

③その他

- 理髪サービス事業の受託実施 (5名、8回)
- ・日常生活用具の貸与事業の実施 介護保険非該当者等への車いす等の貸し出し。 (車いす 28回、ポータブルトイレ 1回)
- ・地域福祉権利擁護事業の実施 (利用者6名 延べ支援回数49回 延べ支援時間70時間)
- 生活福祉資金貸付事業の実施 (相談数60件

貸付数11件:教育支援資金4件、福祉費4件、緊急小口資金3件)

•フードレスキューの実施 5件

(3) 募金活動及び団体事務

①募金活動の実施

・共同募金活動の実施

自治会戸別募金、大口募金(郁慈会、奈良友紘会病院、上牧町商工会)、各自治会夏祭り等での募金、街頭募金(10月3日:アピタ、おくやま 11月3日:ペガサスフェスタ)、学校募金(町内小中学校)、募金箱設置 合計1,661,838円

・日赤社資募金の実施 自治会戸別募金(2,113,260円)

②団体事務の実施

・団体事務の実施 共同募金会、日本赤十字社、上牧町遺族会、身体障害者協議会

(4)その他

- ①指定管理事業
 - ・2000年会館の管理
 - ・障害者福祉センターの管理
- ②広報事業
 - ・広報による社協活動の周知 社協だよりの発行(年4回 4月、7月、10月、1月発行) ホームページによる迅速な事業報告及び情報公開

(法人現況報告書、事業計画及び予算、事業報告及び決算、社協だよりを掲載)